

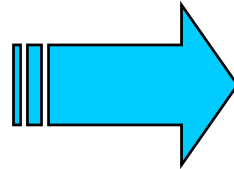
Powered BLUE 333はQube3の 跡を継げるか

— Powered BLUE 333 —



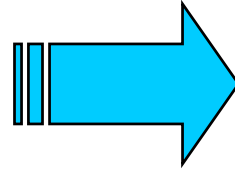
2005年9月1日

RaQ550の後継 Powered BLUE 555リリース



Powered BLUE555

Qube3の後継はないの！



Powered BLUE333

ユーザーインターフェース

使い易いインターフェース

(操作に違和感のないこと)

簡単設定

(LCD付属 ・ 5分程度で初期設定)

オールインワン

Web/DNS/Mail +ハード

(アプライアンス)

形

(19インチ1U にしました)

パッチの提供

(一定期間にわたるパッチの提供)

初期化

(リストアCDによる初期化)

各種ソフト・周辺機器

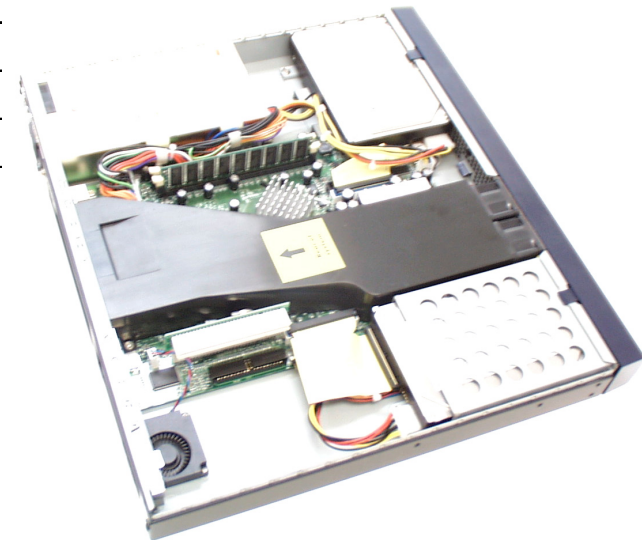
アンチウイルス・グループウェア・UPS



Powered BLUE 333のハードウェアスペック

**POWERED
BLUE**

B333	0280S	0580R/1080R	10300R/20300R
CPU	Celeron 2.6GHz		Pen4 2.8GHz
memory	256 MB	512 MB/1024MB	1024 MB/2048MB
HDD	80 GBx1	80 GB x 2 (レイト*1)	300 GB x 2 (レイト*1)
ネットワーク	10/100ether x 2		
拡張スロット	PCI x 1		
USB	USB x 2		
LCD	IPアドレス・電源off/リフト・パスワードリセット		
シリアル	シリアル x 1		
VGA	VGA x 1		
消費電力	150W		
サイズ/重量	424 x 387.7 x 43.5 mm/ 8Kg		

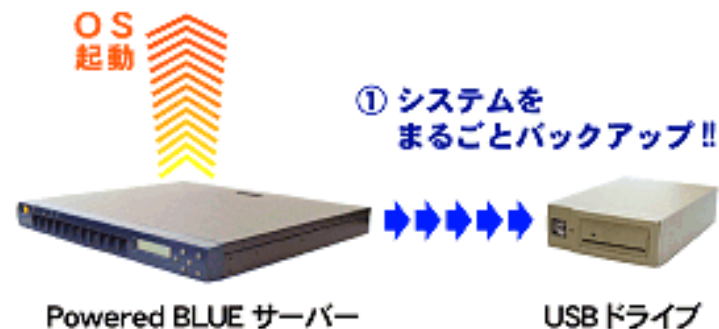


Qube3とPowered BLUE 333の機能比較

モデル	Qube3	B333
Web/DNS/SMTP		○
telnet/SSH		○
POPS/IMAPS/SMTPS	×	○
メーリングリスト		○
Web Mail		○
メール配送経路指定	×	○
パッチの自動アップデート	×	○
ユーザーの一括登録		○
簡易ファイアーウォール		○
シリアルコンソール	×	○
ハードウェアモニター		○
バックアップ	△	○ディザスタ
アンチウイルス	△	○アンチスパム
LCD	○ 同一のキーアサイン	

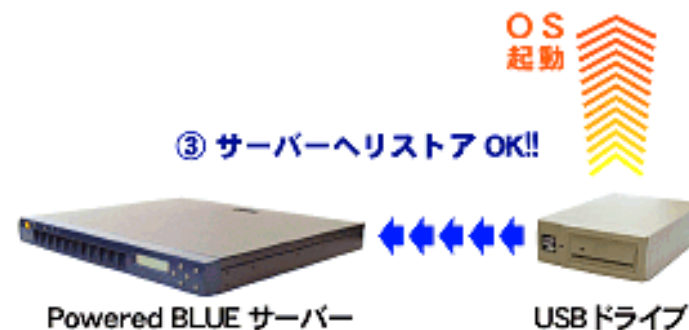
データバックアップ

外部HDDへ全データを
丸ごとバックアップ



リストア

外部HDDからの起動運用
内部HDDへ丸ごとリストア



SCSIタイプ

外付けレイドで起動・運用(ホットスワップ)
内部HDDへ丸ごとバックアップ

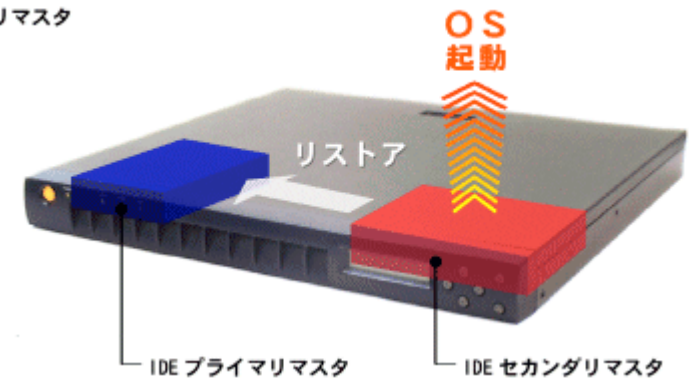
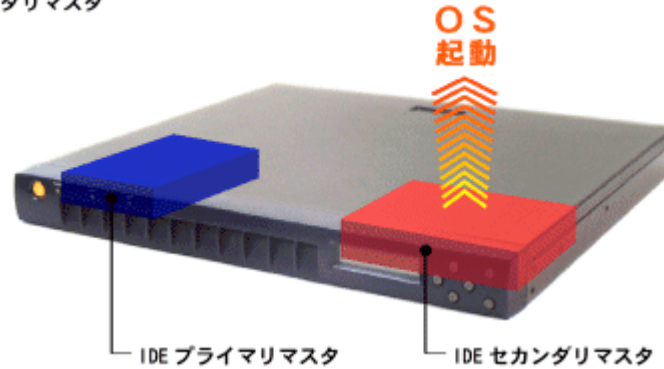






Powered BLUE ディザスタIDEパック

POWERED
BLUE



ディザスタIDEパック管理画面



サーバの管理者

- ▶ ネットワークサービス
- ▶ セキュリティ
- ▶ システムの設定
- ▼ 保守
 - サーバデスクトップ
 - ディスクツール
 - その他のストレージ
- ▶ 利用状況
- ▶ アクティブモニタ
- ▶ 拡張機能&サポート

サーバの管理
サイトの管理
Turbopkg
個人プロフィール

?
🔍
👁
📄

内部ディスクCへのバックアップ

管理オプション設定 ヘルプ

ディスク構成状況

起動ディスク	内部ディスクから起動しています。
起動デバイス	/dev/hda1
ブートローダ	内部ディスクに設定されています。
内部ディスクC	内部ディスクCへのバックアップが可能です。
ディスクの状態	内蔵IDEディスク(/dev/hda)から起動されています。また、別の内蔵ディスクC(/dev/hdc)が見つかりました。

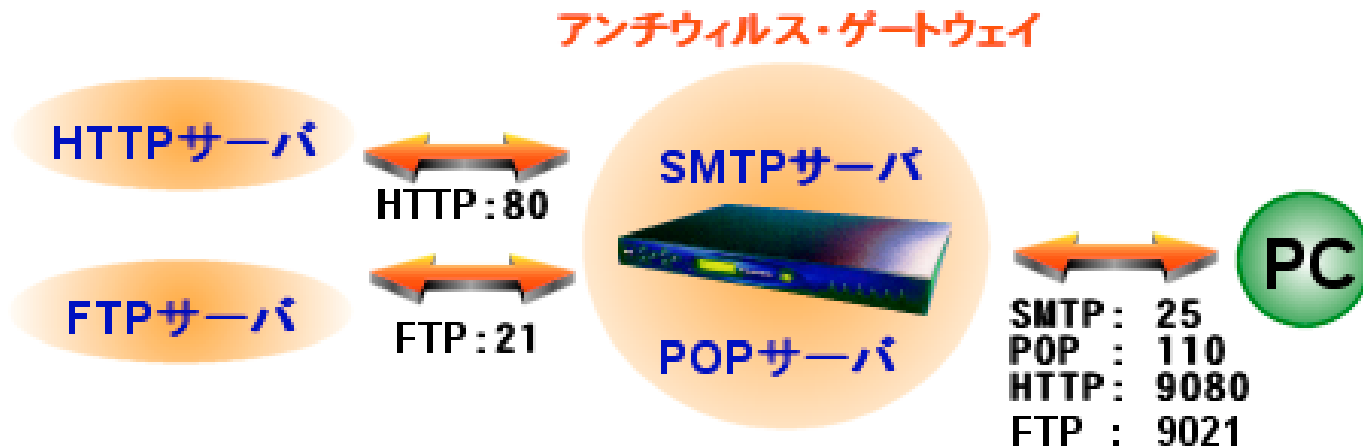


内部A

内部C

? ディスクツールは、ディスクの内容を他のディスクにバックアップしたり、バックアップ先から元のディスクにデータを復元します。また、バックアップ先のディスクからOSを起動することもできます。

メールサーバー共用モード

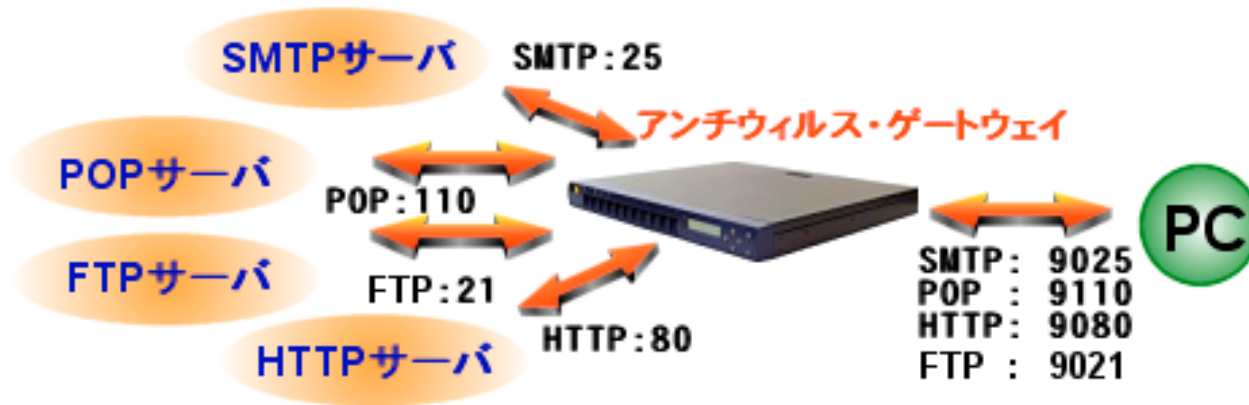


Powered BLUE 555上でのWeb/Mailなどのサービスを運用
SMTP/POP/HTTP/FTP/HDD内のウイルスチェック



エフセキュア社の高速ウィルス検出エンジンを採用

プロキシモード



クライアントはアンチウイルスゲートウェイのIPアドレス & サービスポートを設定する必要あり

透過プロキシモード



クライアントはアンチウィルスゲートウェイのIPアドレスを
ゲートウェイに設定する

停電時にはサーバーを自動でシャットダウン

メールでの通知機能

自動ブート機能

シリアル接続およびネットワーク接続の2方式に対応

シリアル接続

シリアルコンソール使用不可
/dev/ttyS0を指定する

ネットワーク接続

UPSにIPアドレスをアサイン



PB-UPS-BM500ES



PB-UPS-BM1000ES